

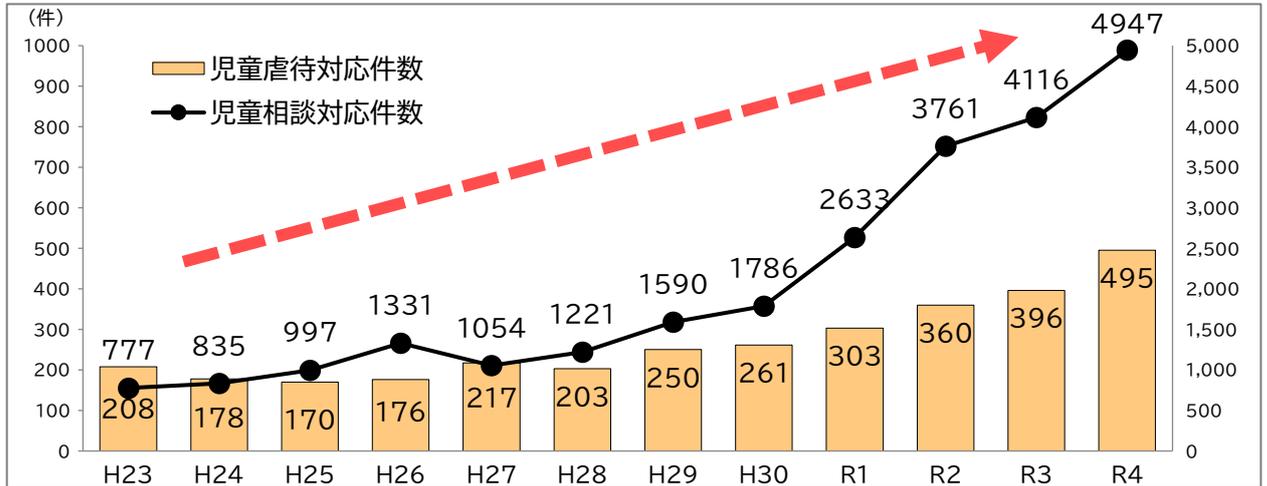
7 児童相談に関する状況 (家庭子ども相談課集計)

重点分野:子どもの安全

(1) 児童相談件数の推移

児童相談、児童虐待対応件数ともに増加傾向にある。

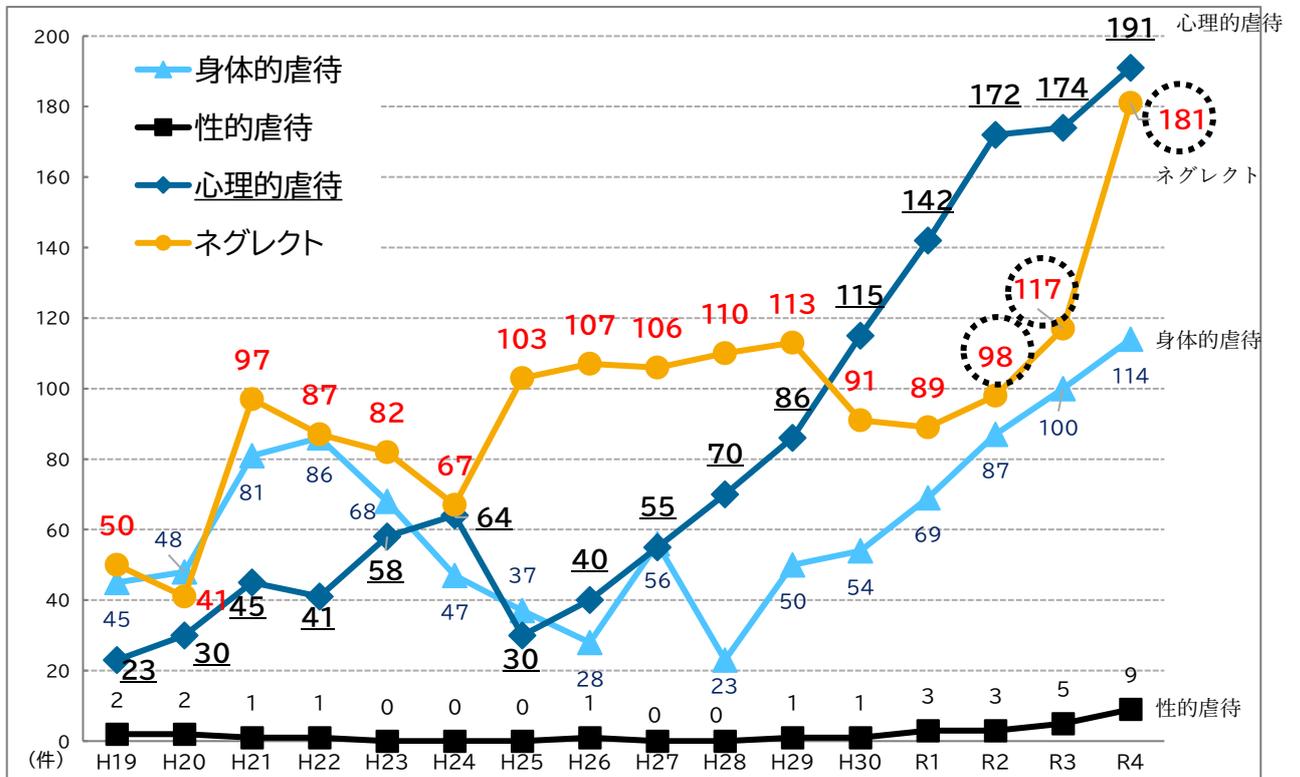
■[図 7-1]児童虐待対応件数及び児童相談対応件数の推移



(2) 虐待の種類別件数

コロナ禍以降。ネグレクトの件数が急増している。

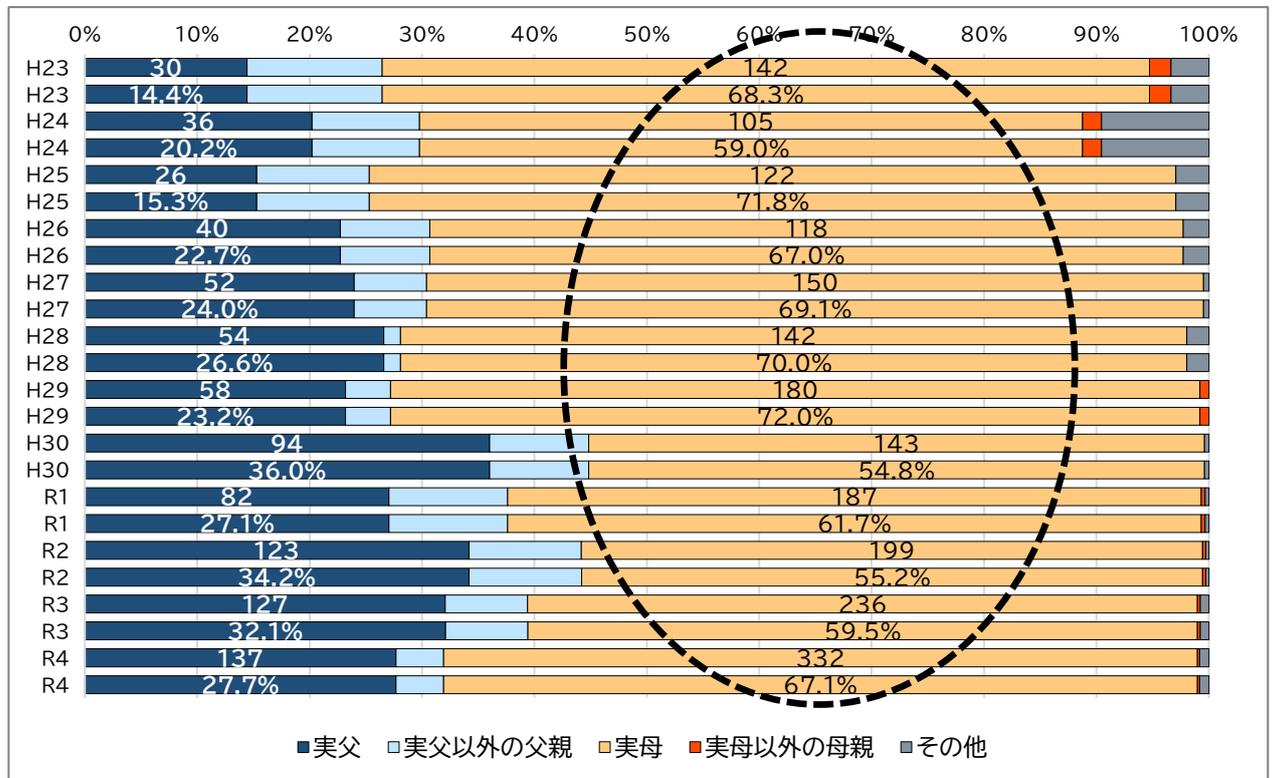
■[図 7-2]虐待の種類別の児童虐待対応件数の推移



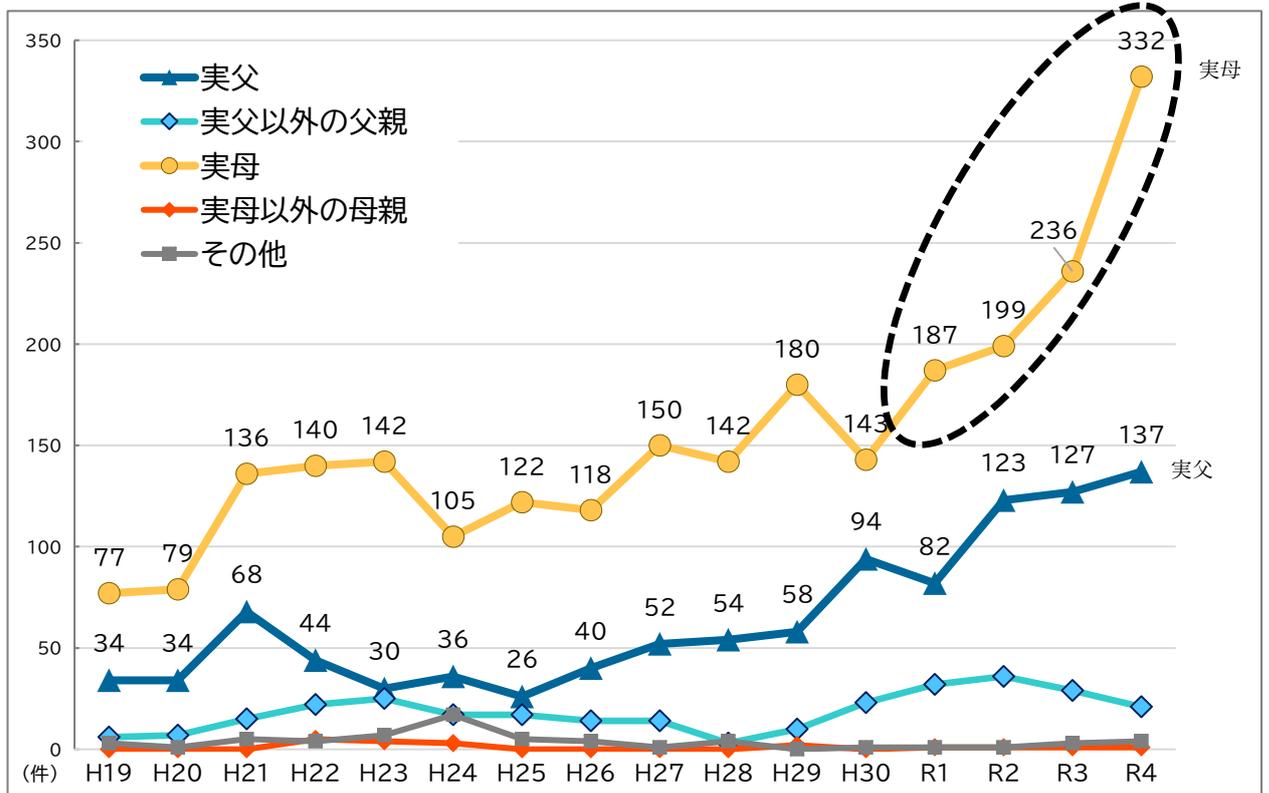
(3) 虐待者別割合

虐待者の約6割が実母によるものである。また、近年その件数が急増している。

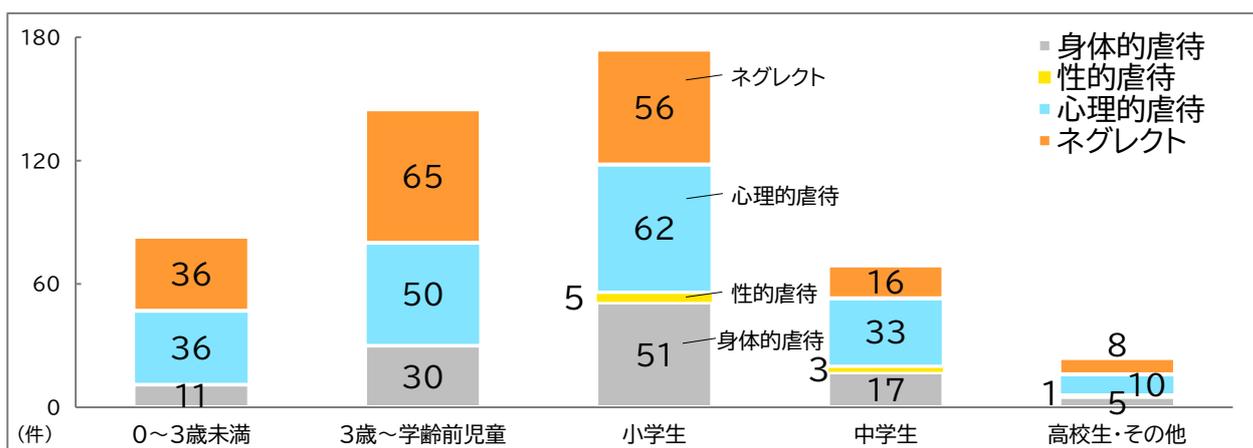
■[図 7-3] 児童虐待対応件数のうち、虐待者別の割合



■[図 7-4] 虐待者別の虐待対応件数の推移

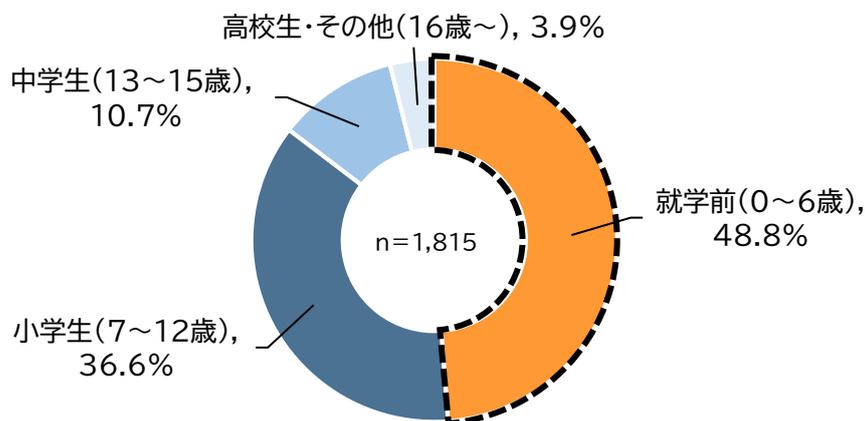


(4) [図 7-5] 児童虐待の種類別・年齢別対応件数 (R4)



(5) [図 7-6] 児童虐待対応件数の年齢別割合 (H30-R4 の 5 年間)

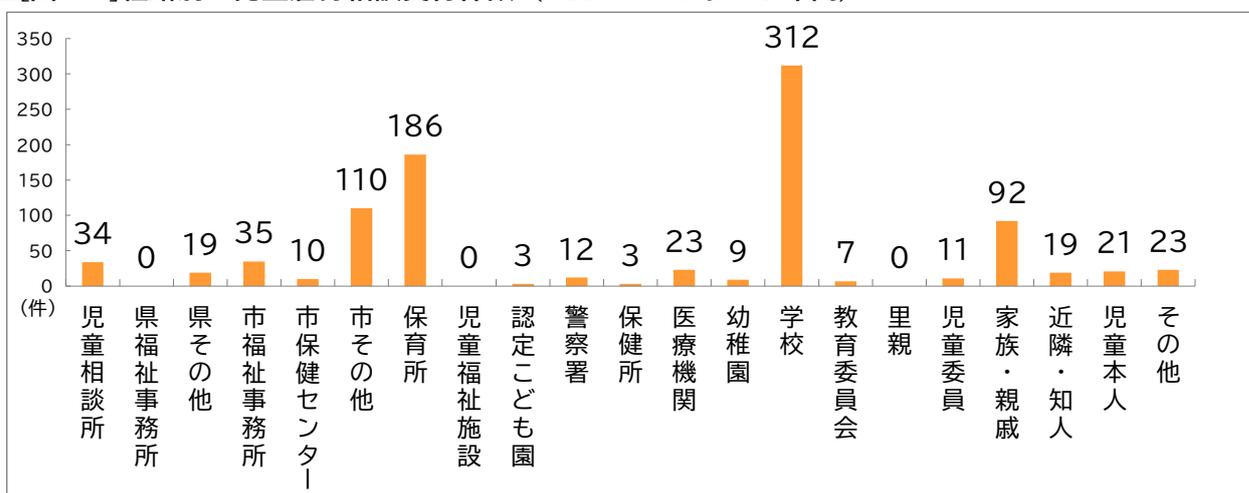
就学前の乳幼児に対する虐待が約半数を占めている。



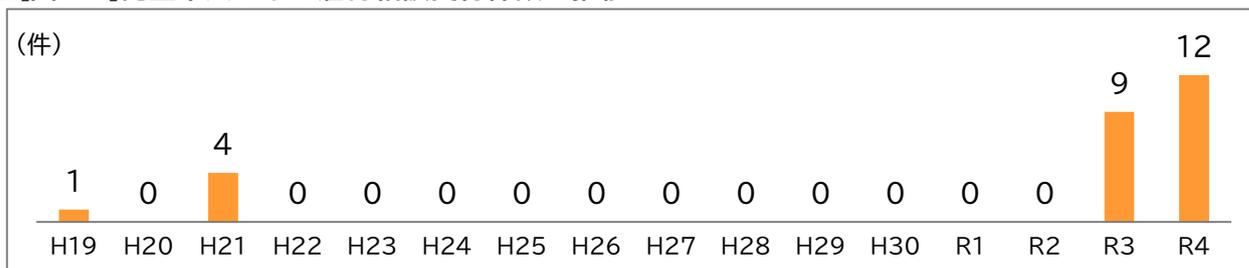
(6) 経路別の虐待相談受付件数

虐待相談の新規受付件数を経路別にみると、学校や保育所からの相談が多く、子ども自身からの相談は少ないが、R3 年から少しずつ増加している。

■ [図 7-7] 経路別の児童虐待相談受付件数 (H30~R4 からの 5 年間)



■[図 7-8]児童本人からの虐待相談受付件数の推移



■[図 7-9]経路別の児童虐待相談受付件数の推移 (R1、R2、R3、R4)

